

科目名		科学と人間生活			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部		午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)		
履修の条件								
先生からの アドバイス		高等学校における理科系科目の基礎的な内容を幅広く学習します。基本的な事項を中心に学習しますが、一部最先端の内容も含まれます。 2年次以降に履修する科目に関わることも取り扱うので、集中して授業に取り組んでください。						
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観点の内容		自然の事物・現象に関わり理科の見方・考え方を働かせて人間生活との関わり方の理解を深めていく。		観察・実験などを通して人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。		自然の事物・現象に進んで関わり科学的に探究する態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。		
評価 方法	学習状況の観察	△		△		◎		
	ノート・確認テスト	○		○		◎		
	実験・実習	○		◎		△		
	単元テスト・定期考査	◎		○		—		
学期	月	学習内容(単元名)		評 価 規 準				
前 期	4	第Ⅲ章 熱や光の科学 熱の性質とその利用		・セルシウス温度や絶対温度について理解し、熱運動についての知識を身につけている。		・熱平衡の現象と、物体の熱容量と比熱について、実験を通して科学的に理解している。		・さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について、関心をもって学習している。
	5							
	6	定期考査 ①						
	7	第Ⅱ章 生命の科学 ヒトの生命現象		・DNAの構造、タンパク質の合成、血糖濃度の調節、免疫のしくみについて理解している。		・ヒトの感覚について興味をもち、ヒトの眼の構造を学習し、視細胞の種類やはたらきについての的確に表現できる。		・実験、観察を通して、人の生命現象について意欲的に学習している。
	9	定期考査 ②						
後 期	10	第Ⅰ章 物質の科学 材料とその利用		・わたしたちの身のまわりにあるプラスチックや金属の特徴と、その原料について、概ね理解している。		・プラスチックや金属の性質を理解し、その用途や再利用方法等について自分の言葉で表現することができる。		・プラスチックや金属の性質と用途について、実験・観察などを通して科学的に思考でき、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身につけている。
	11	定期考査 ③						
	12							
期	1	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 自然景観と自然災害		・身のまわりにある景観に関心をもち、日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレート動きについて科学的に理解している		・身近にある河川や湖沼、海に興味をもち、河川のはたらきや海水のはたらきによって形成された地形について、科学的にその形成のようすを表現できる。		・身の回りの景観や日本列島の火山に興味を抱き、地震や火山とマグマの関連性などについて、意欲的に学習している。
	2	定期考査 ④						
	3							